

国土交通省総合政策局  
情報政策課交通経済統計調査室  
平成27年6月2日(火)公表

# トラック輸送情報

平成27年3月分

平成27年4月分は平成27年7月上旬公表予定

\*問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

電話 03-5253-8111      F A X   03-5253-1567

担当 廣中、桑原   内線 28-723

この調査報告の概要は、国土交通省ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

## トラック輸送情報（平成27年3月分）

平成27年6月2日  
総合政策局 情報政策課 交通経済統計調査室  
担当：廣中、桑原 内線28723  
直通：03-5253-8346  
<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

### 1. 特別積合せ貨物

#### (1) 本月の概況

調査対象24社の本月の輸送量は、5,601,338トンで、前月と比べ総輸送量が約789千トン増加したため、前月比116.4%（季節調整済み101.0%）となり、前年同月との比較では、約501千トン減少したため、前年同月比91.8%の実績であった。

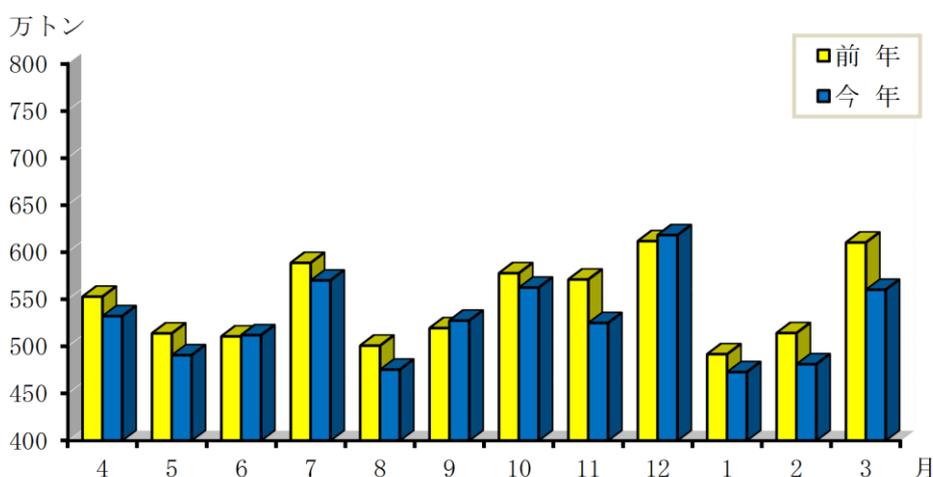
なお、平均稼働日数は24.6日で、前月と比べ2.0日増加し、前年同月との比較では、0.7日増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、227,697トンで、前月と比べ約15千トン増加したため、前月比106.9%となり、前年同月との比較では、約28千トン減少したため、前年同月比89.2%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

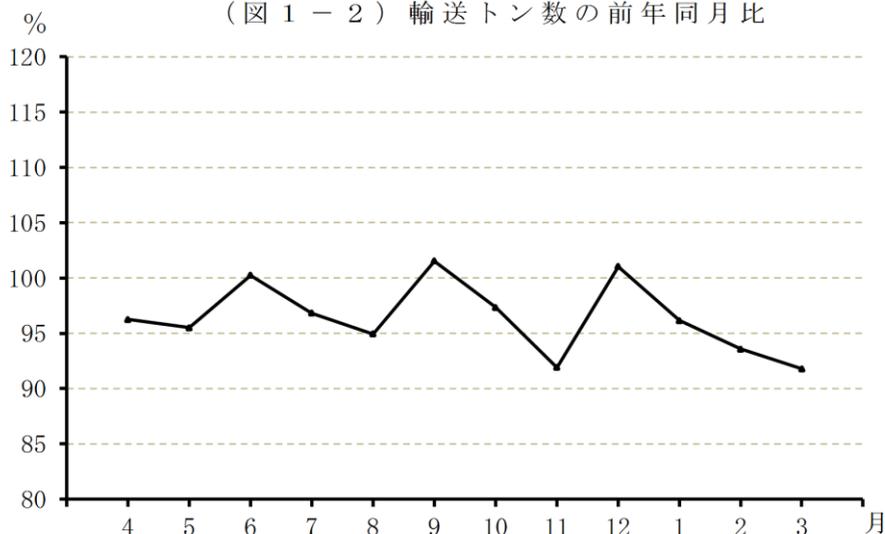
注）平成25年2月から貨物輸送の調査対象については、24社となった。

前月比及び前年同月比は、24社ベースで比較している（図1-1及び図1-2は24社ベースで作成）。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比

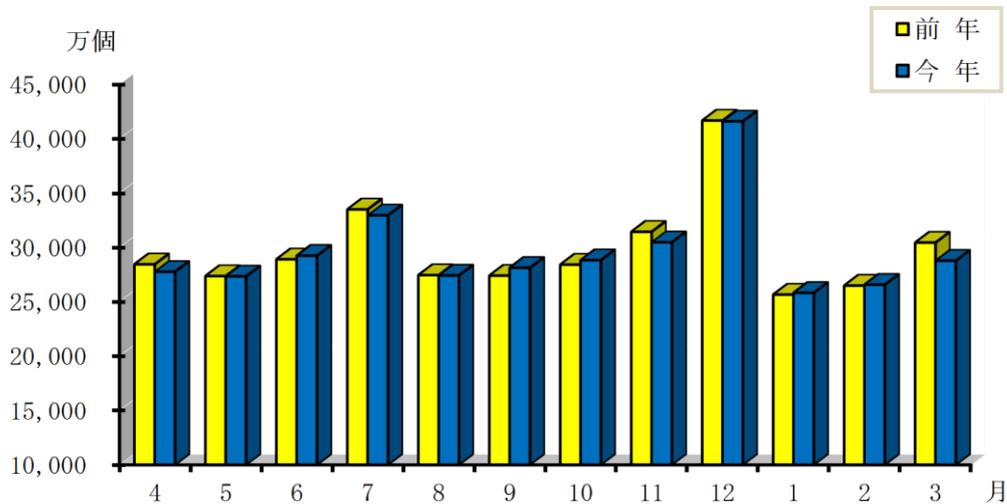


## (2) 宅配便の概況

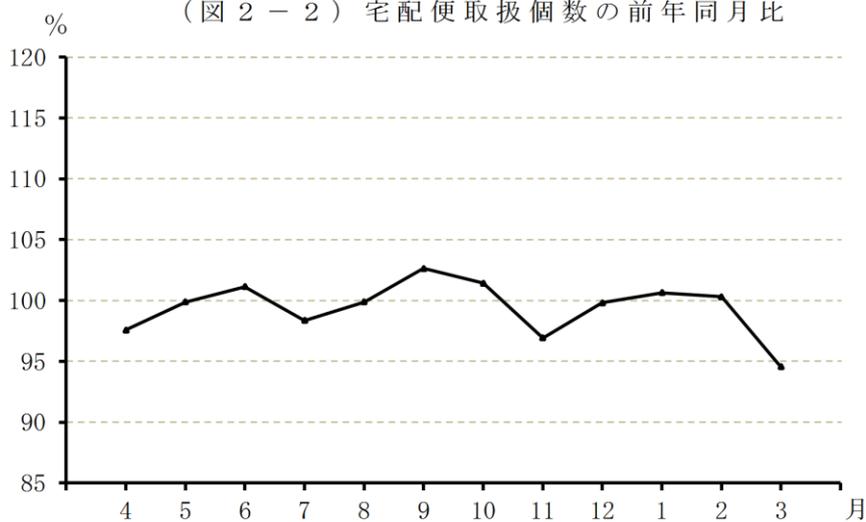
調査対象 14 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、約 287,882 千個で、前月と比べ 約 22,094 千個増加したため、前月比 108.3%（季節調整済み 101.7%）となり、前年同月との比較では、約 16,581 千個減少したため、前年同月比 94.6%の実績であった。

（図 2-1、図 2-2 参照）

（図 2-1） 宅配便取扱個数の推移



（図 2-2） 宅配便取扱個数の前年同月比



## (3) 品目別及び地域別輸送状況（表 1 参照）

調査対象 25 社（24 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社）は、前月と比べると、全ての品目において、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。その増加要因としては、工場・生産地からの貨物増であった。また、季節的需要増が「機械」、「日用品」及び「その他」で見られた。地域については、関東地方から中国の範囲で増加したと回答する事業者が多かった。

前年同月と比べると、全ての品目において、輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。減少要因としては、工場・生産地からの貨物減と倉庫から出る貨物減が、「化学工業品」、「日用品」で見られた。主な減少地域は「神奈川」、「関東」、「近畿」であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 25社)

品目	増減事業者数						主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因
	著 増	増	変 ら ず	減	著 減	減			
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	2	12	1	1			4
	金属製品		5	15	1				4
	機 械	1	6	10	1	1		愛知、大阪、近畿	4, 8
	化学工業品	1	10	10	1		合成樹脂	関東地方、北陸信越、中部、大阪、兵庫	4, 7
	繊維工業品	1	6	13	2			関東地方、中部地方、大阪、兵庫、中国	4
	食料工業品	1	5	14			その他の食料工業品	愛知、近畿	4
	日 用 品	1	9	12			書籍・印刷物	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方	4, 8
	そ の 他	2	6	13			その他(百貨店配送品)	全国	8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品		2	11	4	1			
	金属製品		1	14	6				
	機 械		2	11	7			神奈川	
	化学工業品		2	10	10			神奈川、関東、近畿	4, 7
	繊維工業品		2	14	5	1			
	食料工業品		1	13	6				
	日 用 品			10	11	1	その他の日用品	神奈川、関東	4, 7
	そ の 他	1	1	11	8				

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都府県(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都府県を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。  
なお、地方運輸局に6大都府県を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者(本月の回答事業者803社/調査対象事業者数1,022社)の輸送量は、前月比 106.4%、前年同月比 97.8%であった。

### (表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	97.8 %	97.1 %	103.7 %	97.9 %	96.3 %	98.2 %	98.7 %	95.1 %	94.5 %	95.5 %	108.3 %	
前 月 比	106.4 %	99.8 %	110.4 %	106.3 %	111.8 %	105.5 %	112.0 %	110.2 %	107.7 %	104.7 %	116.1 %	

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況 (各運輸局より回答のあったもの)

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比 99.8%、対前年同月比 97.1%であった。品目別では、商社・問屋からの貨物増により「食料工業品」が、また、「金属製品」、「日用品」及び「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「その他の農産品」、「セメント」、「その他の石油製品」及び「廃棄物」が、天候の影響により「廃棄物」が、建設関連の需要減により「砂利・砂・石材」が、また、「野菜・果物」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は減少傾向、以降は増加傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比 110.4%、対前年同月比 103.7%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増により「セメント」、「食料工業品」及び「日用品」が、また、「動植物性飼・肥料」、「廃棄物」及び「取り合せ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、「工業用非金属鉱物」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比 106.3%、対前年同月比 97.9%であった。品目別では、「機械」、「化学肥料」、「その他の製造工業品」及び「取り合せ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、「その他の農産品」、「鉄鋼」及び「セメント」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比 111.8%、対前年同月比 96.3%であった。品目別では、建設関連の需要増により「鉄鋼」が、季節的需要増により「取り合わせ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比 105.5%、対前年同月比 98.2%であった。品目別では、「機械」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、「繊維工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比 112.0%、対前年同月比 98.7%であった。品目別では、季節的需要増により「機械」、「食料工業品」が、また、「日用品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比 110.2%、対前年同月比 95.1%であった。品目別では、季節的需要増により「木材」、「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」、「機械」、「化学肥料」、「食料工業品」、「日用品」及び「取り合せ品」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。一方、「その他の石油製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比 107.7%、対前年同月比 94.5%であった。品目別では、デパート・スーパーからの貨物増により「日用品」が、建設関連の需要増により「鉄鋼」、「機械」が、工場・生産地からの貨物増により「工業用非金属鉱物」、「機械」及び「紙・パルプ」が、商社・問屋からの貨物増により「日用品」が、季節的需要増により「野菜・果物」、「日用品」及び「取り合せ品」が、また、「金属鉱物」、「セメント」、「食料工業品」及び「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比 104.7%、対前年同月比 95.5%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」、「金属製品」、「化学肥料」及び「日用品」が、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」、「機械」及び「その他の製造工業品」が、天候の影響により「木材」、「紙・パルプ」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減により「セメント」、「その他の窯業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比 116.1%、対前年同月比 108.3%であった。品目別では、商社・問屋からの貨物増により「その他の農産物」、「日用品」が、季節的需要増により「その他の農産品」、「日用品」及び「取り合わせ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、「木材」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>

## (3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
品目		海	北	東	陸	部	畿	国	国	州	縄	国
		道			信							計
1. 穀物	増	1	2									3
	減	1	1							1	1	4
2. 野菜・果物	増		1		2				7	8		18
	減	2	2		1				1	1		7
3. その他の農産品	増									1	3	4
	減	3		1								4
4. 畜産品	増	1						1		3		5
	減											
5. 水産品	増	1	1		1	1			1	1		6
	減	1	2							1		4
6. 木材	増	1	1		1			4	1	4		12
	減	1							1	1	2	5
7. 薪炭	増	1										1
	減											
8. 石炭	増	1										1
	減	1										1
9. 金属鉱物	増		1						2			3
	減											
10. 砂利・砂・石材	増		1		1			3	3	4		12
	減	9							2	1		12
11. 工業用非金属鉱物	増		1						2			3
	減	1	3			1				1		6
12. 鉄鋼	増				4			4	3	1	2	14
	減		1	1					1		1	4
13. 非鉄金属	増							1				1
	減				1				1			2
14. 金属製品	増	3	1		1		1	1		3		10
	減	1			1							2
15. 機械	増	1	2	1	1	2	4	4	6	3	1	25
	減							1	1	1		3
16. セメント	増	2	3			1			2	1		9
	減	4		1						8		13
17. その他の窯業品	増		2		1	1			1	1		6
	減									3	1	4

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
品目	増							1				1
	減		1		1							2
19.その他の石油製品	増	1							1			2
	減	6	1		1			2		2		12
20.コークス・ その他の石炭製品	増	1										1
	減											
21.化学薬品	増		1									1
	減											
22.化学肥料	増	1	1	1	1			2		2		8
	減	1										1
23.その他の化学工業品	増	1	1		1	1		2	1	1		8
	減				1			2				3
24.紙・パルプ	増	2	1					1	4	3		11
	減	1	1						2			4
25.繊維工業品	増		1						1			2
	減		1			2						3
26.食料工業品	増	3	4	1	3		3	6	3	4	1	28
	減		2	1	4		1					8
27.日用品	増	3	2	1	1		3	2	7	6	3	28
	減	1		1	1	1						4
28.その他の製造工業品	増			1		1				2	1	5
	減		2									2
29.金属くず	増							1		1		2
	減										1	1
30.その他のくずもの	増								1			1
	減									1		1
31.動植物性飼・肥料	増	3	3						2	3		11
	減		1		1					1		3
32.廃棄物	増	1	3			1		1	2	1		9
	減	11						1	1			13
33.輸送用容器	増											
	減											
34.取り合せ品	増	1	2	1	4			9	4	2	2	25
	減	2								1		3
35.その他	増	3	7	4	4		5	7		8	1	39
	減		1		3		4	3		3	1	15